

分科会開催報告書

報告日 令和6年12月26日	報告者 西村康枝
分科会名 浮雲俳句会	開催テーマ 第190回浮雲俳句会
開催日時 令和6年12月22日(日) 午前10時~12時	開催場所 いきいきセンター 晴嵐かなざわ
参加人数 浮雲俳句会会員 13名	欠席者 1名

実施内容

第190回例会は兼題「道」の1句、当季雑詠3句、合計4句。

句会はあきえ会員による選句の披講後、会員各々が選んだ特選句の選評。

月当番による合評後、意見・質問・添削等活発な意見交換がなされた。

「俳句作句のあれこれ◎オノマトペ「擬音語（擬声語）・擬態語」について学習。

出席全会員により、特選句8句を選ぶ。

特選句

風哭くやメタセコイアの枯木道	二 祥
空き家にも明かりの如き蜜柑生る	和 女
冬林檎木箱を満たす陽の匂ひ	和 女
俳句道未だ遠しや冬雲雀	重 九
朝練へ向ふ轍や霜の道	二 点
冬日映ゆ廃校跡に道の駅	一 翁
冬うらら笙の音わたる御所の庭	二 祥
戦死者を数え続けて去年今年	十 九

次回の予定

令和7年1月26日(日) 午前10時~12時

第191回例会は、いきいきセンター晴嵐かなざわ

投句は4句。兼題「音」の1句、他に当季雑詠3句。

披講 えいこ会員